

答案構成講座（憲法）

ポイント

① 人権の問題では書き方のパターンを頭に入れる

人権の書き方パターン

- (1) そもそもどのような原告の権利が侵害されているのか
- (2) その権利は憲法上保護される権利なのか
- (3) 保護されるとしてどの程度重要な権利なのか
- (4) そうした権利に対する制約はどの程度されているのか
- (5) 合憲・違憲はどのように判断されるのか（違憲審査基準）
- (6) 問題文を違憲審査基準にあてはめる（あてはめ）

② 被告の反論はあり得る部分のみで十分

③ 原告・被告は極端な主張を、私見でバランスを取る

答案構成例

第1 原告の主張

- 1 （問題提起）と（人権保障の有無）
- 2 （1）（人権の重要性）と（制約の程度）
（2）違憲審査基準

3 原告の結論

第2 被告の反論と私見

- 1 被告の反論
- 2 私見